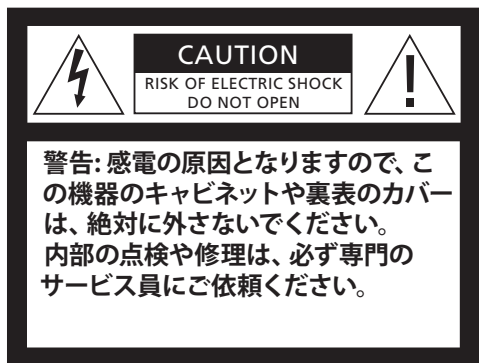


BeoLink Wireless 1

ユーザー ガイド



警告: 火災や感電を避けるため、この製品を雨の中にさらしたり、極端に湿度の高い場所で使用することは絶対にやめてください。水が垂れ落ちてくる可能性がある場所での使用や、花瓶など水を含んだ容器類をこの製品の上に置くことも、絶対にやめてください。

この機器とAC電源を完全に切り離すためには、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードを接続する時は、抜き差しがしやすい場所にあるコンセントを選んでください。



正三角形の中に稲妻が入った左のマークは、この製品の内部で、感電の危険をもつ絶縁されていない高電圧が、発生する可能性を示しています。



正三角形の中に感嘆符が入った左のマークは、この製品の取扱説明書の中に、操作と保守に関する重要な情報が含まれていることを示します。

このクラスBデジタル装置は、カナダの妨害発生源機器規則のすべての要件に適合しています。この移動型発信機が内蔵しているアンテナは、人間から最低20cm離れた位置で使用しなければいけません。また、他のいかなるアンテナや送信機とも、近接させたり併用してはいけません。本製品の製造元が明確に承認していない改造を施すと、使用者としての権利はすべて無効となります。注意: 本製品は、連邦通信委員会規定第15項に適合しています。操作は、以下の2つの条件に従って行ないます: (1) 本製品が有害な干渉を起こさないこと。(2) 本製品が、操作に支障をきたす干渉を含め、すべての干渉を受け入れること。

本製品は、無線周波エネルギーを発生、使用、放射することがあり、指示通りの設置や使用が行なわれないと、無線通信に有害な干渉を行なう恐れがあります。ただし、このような干渉が発生しない条件を、特定することはできません。もし、本製品がラジオやテレビの受信に干渉するようであれば、本製品の電源をオン/オフすることで干渉源が本製品であることを再確認したうえ、以下の方法を用いて干渉を除去してください。

- 受信用アンテナの向き、または設置場所を変える。
- 受信装置から本製品を遠ざける。
- 受信装置とは別の電気回路上にあるコンセントに、本製品を差し込む。
- 販売店または経験を積んだラジオ/テレビ技術者に相談する。

はじめに, 4

この章では、メインルームとリンクルームにおけるWireless 1システムの概要と、Master LinkおよびPower Linkセットアップについて説明します。

本体操作, 6

Timer Play 機能をオンにする方法と、メインルームのシステムの演奏を“呼び出す”方法について説明します。

Beo4リモコン, 7

Beo4 リモコンを使って、リンクルームから、メインルームの機器を呼び出す方法について説明します。

Beo4 – サウンド調整, 8

Beo4 リモコンを使い、サウンドの設定を調整する方法について説明します。

BeoLink Wireless 1 の設定, 9

Wireless 1 ユニットおよび赤外線受光部の設置、設定、接続について説明します。

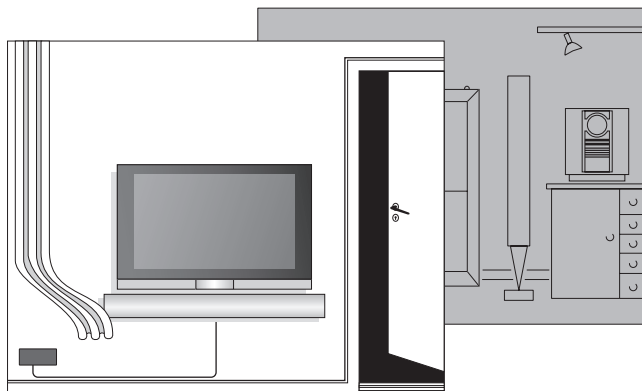
準備完了..., 16

リンクルームの製品を、使用可能にする方法を説明します。

メインルームとは、各種の外部機器を含むオーディオ/ビジュアルシステム(メインシステム)が、設置されている部屋を意味します。メインシステムに接続するBeoLink Wireless 1は、送信機として設定しなければいけません。

リンクルームとは、もう1台のBeoLink Wireless 1を、受信機として設定した部屋を意味します。リンクルームのセットアップには、Bang & Olufsenのオーディオ/ビジュアル製品、またはアクティブスピーカーが必要です。

リンクルームに置く製品の種類によって、リンクルームは、Master Link接続またはPower Link接続のいずれかでセットアップされます。



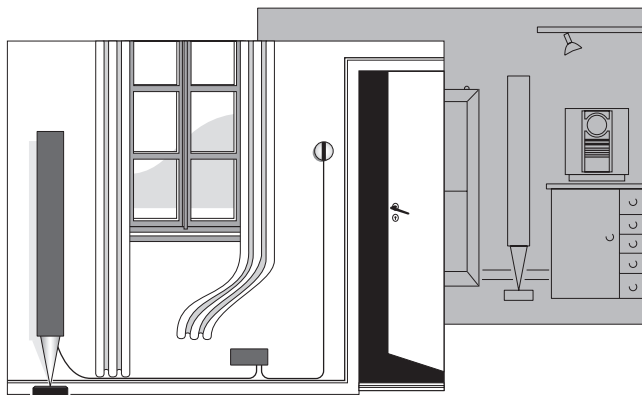
リンクルームにビジュアル製品を置く場合は、Master Link接続が必要になります。

Master Link セットアップ

リンクルームの製品がオーディオまたはビジュアルシステムであれば、BeoLink Wireless 1との接続は、Master Linkケーブルで行なってください。

BeoLab 3500も、Master Linkケーブルを使い、BeoLink Wireless 1と接続しなければいけません。

このセットアップでの操作については、リンクルーム製品に付属のガイドをご覧ください。



BeoLink Wireless 1の設置方法については、このガイドの「BeoLink Wireless 1の設定」(9-15ページ)をご覧ください。

メインルームのシステム、およびリンクルームの製品の設置方法については、各製品に付属しているガイドをご覧ください。

アクティブスピーカーと、赤外線受光部が設置されたリンクルーム。この場合は、Power Link接続を使いセットアップします。

Power Link セットアップ

リンクルームの製品がアクティブスピーカーだけであれば、BeoLink Wireless 1を、Power Linkケーブルで接続する必要があります。

この場合の操作については、本ガイドの6-8ページをご覧ください。

このセットアップでシステムを操作するには、赤外線受光部が必要となります。操作は、受光部の本体、またはBang & Olufsenのリモコンで行ないます。

操作パネル

このページは、赤外線受光部が必要となるPower Linkセットアップだけを、対象としています。Master Linkケーブルで接続されたリンクルーム製品の本体操作については、各製品に付属しているガイドをご覧ください。

円形の「IRアイ」には、操作用のボタンが付いています。

ボタンを操作して、メインシステムで再生中の音源を聴くことができます。

また、ボタンを使って、音量を調整することもできます。

このボタン操作で、メインオーディオ/ビデオシステムにプログラムされたタイマー再生を、リンクルームのスピーカーで有効/無効にすることもできます。

タイマー再生機能が付いていないBang & Olufsenシステムもありますのでご注意ください。詳細については、メインシステムのユーザーガイドをご覧ください。

メインルームの音源を聴く

> **PLAY**・を押すと、メインシステムで再生中の音源を聴くことができます。音源が再生されていないときに**PLAY**・を押すと、メインシステムのラジオがオンに切り替わります。メインシステムにオーディオ音源が無い場合、前回見ていたテレビチャンネルがオンに切り替わります。

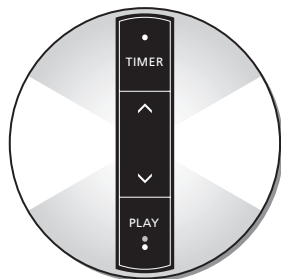
> **PLAY**・をもう一度押すと、リンクルームのスピーカーがオフに切り替わります(赤色のスタンバイインディケーターが**PLAY**・ボタンに表示されます)。

PLAY・ボタンを2秒以上押し続けると、リンクルームのスピーカーとメインシステムが同時にオフに切り替わります。

音量の調整

> **▲**または**▼**を押すと、スピーカーの音量が調整されます。

リンクルームのスピーカーの音量は、メインシステムとは別に調整できます。



タイマー再生の操作

メインシステムに自動再生(タイマー再生)を設定している場合、リンクルームのスピーカーでも起動できます。

> **TIMER**を押します。**TIMER**ボタンの赤色ライトが点灯していれば、リンクルームのスピーカーも起動されます。

> **TIMER**をもう一度押すと、リンクルームのタイマー機能がオフに切り替わります(赤色ライトが消灯します)。

このページは、赤外線受光部が必要となるPower Linkセットアップだけを、対象としています。Master Linkケーブルで接続されたリンクルーム製品のBeo4リモコンによる操作については、各製品に付属しているガイドをご覧ください。

Beo4リモコンは、メインオーディオ/ビデオシステムの音源を別の部屋からオンに切替えて聴いたり、メインシステムのサウンド機能进行操作できます。

本書に記載されている機能は、Bang & Olufsenメインシステムの音源が各機能に対応している場合のみ、BeoLink Wireless 1を介してご利用いただけます。

オーディオ音源をオンにする …

- > RADIOを押すと、ラジオを聴くことができます。
- > CDを押すと、CDを聴くことができます。
- > AMEM (ATAPE)を押すと、オーディオ録音を聴くことができます。

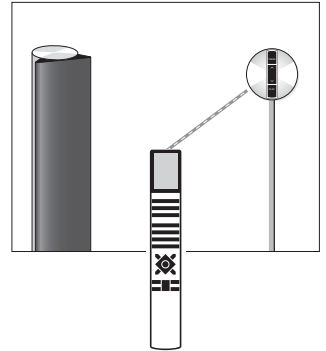
ビジュアル音源をオンにする …

- > TVを押すと、テレビ音声を聴くことができます。
- > DTV (SAT)を押すと、デジタルテレビ音声を聴くことができます。
- > VMEM (VTAPE)を押すと、ビデオ録画音声を聴くことができます。
- > DVDを押すと、DVD音声を聴くことができます。

その他の音源をオンにする …

- > LISTを押すと、その他の音源 (N.MUSIC - パソコンに保存されたミュージックファイルなど) が表示されます。続いてGOを押すと、その音源がオンに切替わります。

各操作の詳細については、Beo4リモコン、オーディオ、ビデオシステムに付属のユーザーガイドを参照してください。



Beo4リモコンは、Bang & Olufsen取扱店でご購入いただけます。

Beo4 – 音量の調整

このページは、赤外線受光部が必要となるPower Linkセットアップだけを、対象としています。Master Linkケーブルで接続されたリンクルーム製品のサウンド調整については、各製品に付属しているガイドをご覧ください。

Beo4を使って、リンクルームのスピーカーのサウンドをリモコン操作で調整できます。

リンクルームのスピーカーをオフに切り替えると、サウンド機能設定は、それらを保存していない限り、すべて初期設定にリセットされます。

音量レベルを含む、現在のサウンド機能はすべて一斉に保存されます。

サウンド機能は、メインオーディオ/ビデオとは別に調整できます。

音量を調整またはミュートする …

- > ▲または▼を押して、音量を調整します。
- > ▲▼ボタンの真ん中を押すと、音声ミュートされます。▲または▼を押すと、音声再開されます。

スピーカーバランスを調整する …

- > LISTを繰り返し押すと、ディスプレイにSPEAKER*が表示されます。
- > ◀または▶を押して、左右のバランスを調整します。

低音、ラウドネスを調整する …

- > LISTを繰り返し押すと、ディスプレイにA.SETUP*(ビデオの場合はV.SETUP*)が表示されます。
- > GOを押すと、設定を変更できます。
- > LISTを繰り返し押すと、ディスプレイにBASS、TREBLEまたはLOUDNESSが表示されます。
- > ▲または▼を押して、設定を変更します。
- > GOを押して、設定を確定します。

サウンド設定を保存する – 起動サウンドレベルを再設定する …

- > LISTを繰り返し押すと、ディスプレイにS.STORE*が表示されます。
- > GOを押して、設定を保存します。

*ご注意!これらの機能は、Beo4の機能リストに追加していないと表示されません。詳細については、Beo4ユーザーガイドの「Beo4のカスタマイズ」の章を参照してください。

次のページでは、

BeoLink Wireless 1をメインルームとリンクルームでセットアップする方法を説明します。

以下の手順に従ってください。

- Wireless 1ユニット間の接続については、10ページの説明をご覧ください。
- 12ページと14ページの説明に従って、ケーブル接続を行います。
- メインルームとリンクルーム間のワイヤレス接続を点検します。
- 必要に応じて、ユニットを壁に掛けることもできます。11ページと15ページの説明をご覧ください。
- リンクルームで設定するOptionについては、16ページの説明をご覧ください。

ご使用になる前に…

- Wireless 1のセットアップは、必ず本書の説明に従ってください。損傷を避けるため、製品にはBang & Olufsenの専用ウォールブラケットをご使用ください。
- Wireless 1の電源を完全に切るには、電源プラグをコンセントから外します。
- Wireless 1は分解しないでください。点検や修理は、サービス技術者にお任せください!
- Wireless 1は、必ず湿気を避けた室内環境で、室温10–45°C (50–113°F)の範囲内で使用してください。
- Wireless 1の周りには十分な隙間をあげ、適切に換気されるようにしてください。
- Wireless 1の上に物を置かないでください。
- 置き方や室内の状態にもよりますが、Wireless 1の屋内での送受信範囲は約30 mです。
- 1台の送信ユニットが7台の受信ユニットに対応します。それぞれのセットアップに送信ユニットは3台まで設置できます。
- 複数の送信ユニットを使用する場合、それぞれ5 m以上の距離を置いて設置してください。
- メインシステムに接続する送信ユニットとして、最低1台のBeoLink Wireless 1が必要です。加えて、Power Linkセットアップした各リンクルームには、外部赤外線受光部が、1つ必要になります。
- 「IRアイ」は、直射日光や直接照明(スポットライトなど)が当たる場所や、電気ノイズの発生源(照明調整スイッチなど)の近くには設置しないでください。リモコン信号の受信感度が低下します。

Wireless 1 – 送信ユニット/受信ユニット …

Wireless 1は、送信ユニットまたは受信ユニットとして使用できます。壁に取り付ける前に、送受信ユニットの接続設定を完了しなければなりません。送信/受信ユニットを同じ部屋に置く場合。

本書の接続手順を各受信ユニットに対してそれぞれ行ってください。

送信ユニットを1台以上使う場合、各送信ユニットと各受信ユニット間の接続をひとつずつ設定してください。受信ユニットとの接続を設定する際、1度に1台の送信ユニットしか電源をオンにすることはできません。

送信/受信ユニット間の接続を設定するには …

- > 送受信側 (TまたはR)それぞれを、2ポジションスイッチで設定します。
- > 送信/受信ユニットの電源プラグをコンセントに差し込みます。
- > 送信/受信ユニットの接続ボタンを押すと、1分間の接続モードが開始されます。
- > 送信/受信ユニット間の接続が確立された状態になると、インジケータが緑色または黄色に点灯します。接続が確立された後、20秒ほどで、受信ユニットがスタンバイ状態に切り替わります (インジケータが赤色に点灯)。
- > 受信ユニットがスタンバイ状態に切り替わったら、電源プラグをコンセントから外し、新たな位置に移動させます。

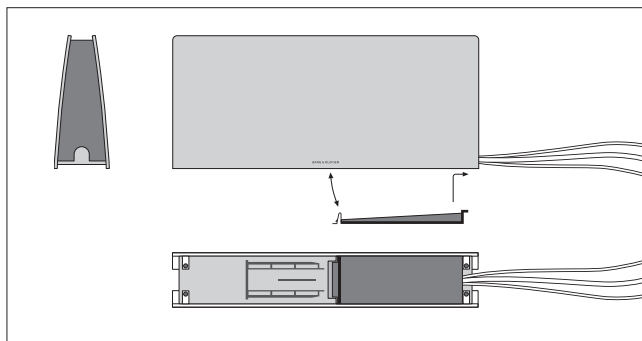
複数の受信ユニットを使用する場合、上記の手順を各ユニットに繰り返してください。

インジケータのライト

早い黄色点滅 … Wireless 1が出荷時設定にリセットされた状態。
遅い赤色点滅 … Wireless 1が接続モード状態。
早い赤色点滅 … 続失敗/受信ユニットが送信ユニットの圏外。
緑色 … 送信/受信ユニット間の接続が良好な状態。
黄色 … 最適な状態ではないが、送信ユニットと受信ユニットが接続されている状態。
赤色 … 受信ユニットがスタンバイに切り替わった状態。

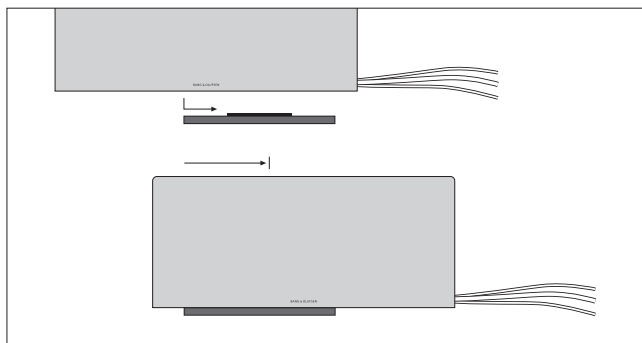
Wireless 1を出荷時設定 (接続されていない状態)にリセットするには、インジケータが黄色で点滅を開始するまで、接続ボタンを押し続けます。

ボタンおよびソケットの取り扱い方法については、11ページの説明を参照してください。



Wireless 1 - 壁掛け

Wireless 1は、付属のブラケット（縦/横用）を使って、壁（または天井）に取り付けることができます。ブラケットからケーブルを左右どちらの方向にも配線できます。ただし、Wireless 1を壁に垂直に取り付けた場合、ケーブルを下向けに配線しなければなりません。このようにしなければ、ブラケットに Wireless 1を安全に保持できません！



定格荷重 1.6 kg 以上の2本のネジとウォールアンカーを使用してください。Wireless 1を石膏壁や天井に取り付ける場合、丸頭ラグネジ（4 mm）を1本使用し、石膏を貫通させて垂直ボルト留めに12 mm以上ねじ込みます。その他のネジは、石膏パネル専用タイプを使用してください。

接続ボタンとソケットを取り扱う際は、カバーを取り外します。ケーブルを接続した後で、ワイヤレス接続が未だ確立されているか確認し、問題がなければ、ケーブルを溝に通し、カバーを再取り付けします。

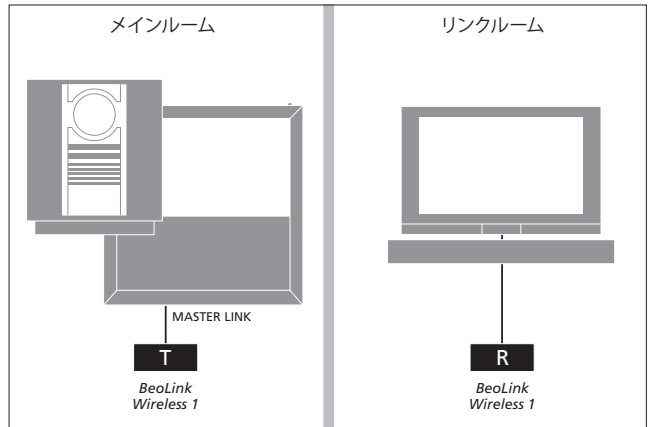
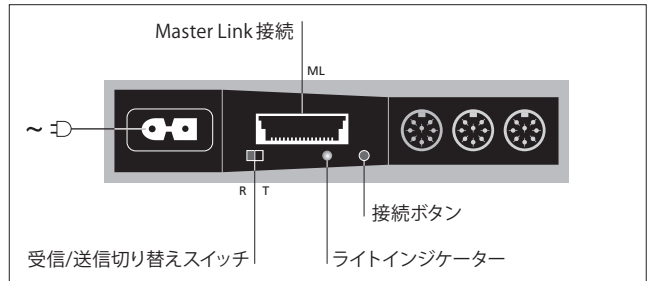
カバーを取り付けてから、Wireless 1を図のようにブラケットにスライドさせて取り付けます。

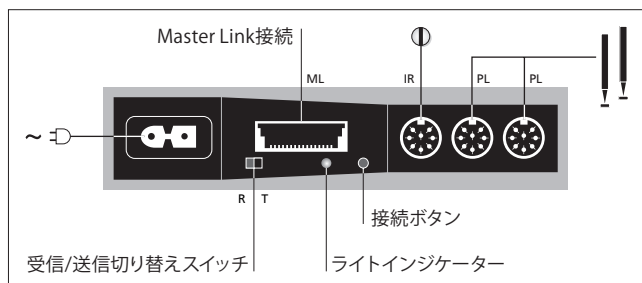
接続 – Master Link

メインルーム側: 送信ユニットを、メインシステムのMaster Link端子に接続します。その後、メインシステムと送信ユニットを電源に接続してください。

リンクルーム側: オーディオまたビジュアル製品を、受信ユニットのMaster Link端子に接続します。その後、オーディオまたビジュアル製品、および受信ユニットを電源に接続してください。

受信ユニットのインジケータライトが、通信中であることを確認してください。通信が切れていたら、位置を移動させなければなりません。受信ユニットは、約20秒たつと自動的にスタンバイ状態となります。

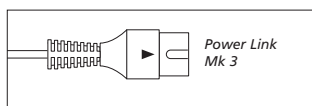
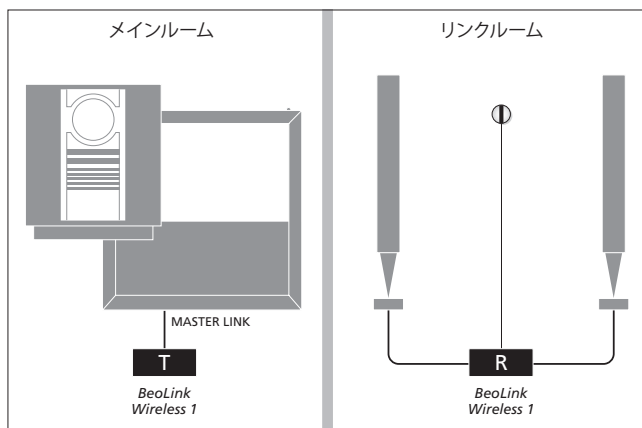




接続 – Power Link

メインルーム: 送信ユニットをメインシステムの Master Link ソケットに接続します。メインシステムと送信ユニットの電源プラグをコンセントに差し込みます。

リンクルーム: スピーカーを受信ユニットの Power Link ソケットに接続します。「IR アイ」を IR のマークが付いたソケットに接続します（「IR アイ」とそのケーブルについては、14 ページを参照してください）。スピーカーと受信ユニットの電源プラグをコンセントに差し込みます。



Power Link ケーブル: 必ず、プラグの先端に 3 角形のマークがあるケーブルを使ってください。古いタイプの Power Link ケーブルは、ノイズを発生させ最良の音質が得られないおそれがあるので、使わないでください。

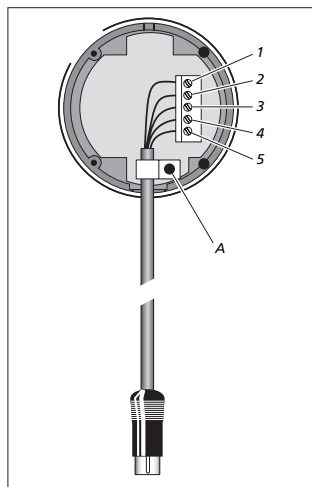
受信ユニットのインジケータライトをチェックして、接続が確立されていることを確認してください。接続されない場合、ユニットの位置を移動してください。受信ユニットは、20 秒ほど後に、スタンバイ状態に切り替わります。

「IR アイ」- ケーブル接続

「IR アイ」は、Bang & Olufsen 販売店でご購入いただけます。「IR アイ」は、各リンクルームに必要です。

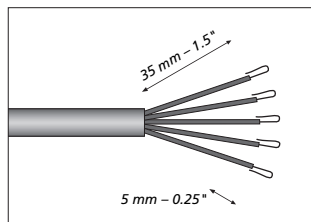
「IR アイ」に付属のケーブルを使って、次の説明に従って接続してください。

- > ケーブルを必要な長さに切断し
(受信ユニットから「IR アイ」まで)、被覆を図のようにはがします。
- > ケーブル端をケーブルクランプ (A) に挿入し、図の番号順にリード線を「IR アイ」内の端子に接続します。クランプ(A)を締めます。
- > 裏面カバーを取り付け、次ページに示すように「IR アイ」を壁に固定します。ケーブルを受信ユニットの IR マークの付いたソケットに差し込みます。

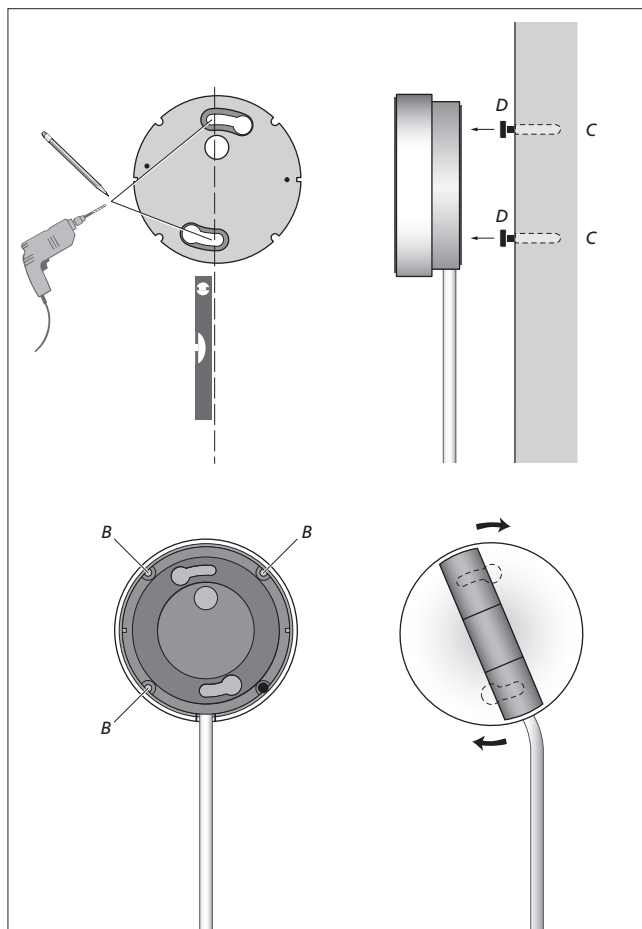


ケーブルのリード線を、順番に受信ユニット内の端子に接続します:

- 1 = 黄色
- 2 = 灰色
- 3 = 緑色
- 4 = 白色
- 5 = 茶色



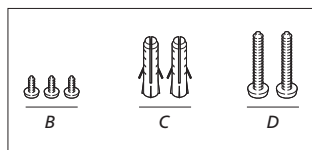
ケーブル端をはがします。各リード線の芯をねじり、後に折り曲げます。



「IRアイ」- 壁取り付け

「IRアイ」をドアの横の適当な高さに取り付けておけば、お部屋を出入りする際に、操作パネルの電源の切り替えを簡単に行えます。同じように、電話の横に取り付けると、通話の最中にスピーカーの電源をオフにできます。

- > ウォールプレートを使って、壁面の穴を開ける位置に印を付けてください。ネジでウォールアンカーを壁に取り付けます。2本のネジ頭は、図のように壁から突き出るようにしてください(C/D)。
- > ウォールプレートを「IRアイ」の裏面に取り付け、ネジ3本で留めます(B)。
- > 2つの「キーホール」を突き出た2本のネジ頭(D)に差し込み、「IRアイ」を右に回して固定します。



オプション設定

ここまでの説明と、リンクルームで使う製品ガイドの説明通りにすべての接続を終えたら、システムは使用可能となります。とはいえ、セットアップを正しく機能させるためには、リンクルーム側の製品に、オプション設定を行わなくてはなりません。

このページでは、Power Linkセットアップでのオプション設定について説明します。Master Linkセットアップでのオプション設定については、リンクルーム製品に付属するガイドをご覧ください。

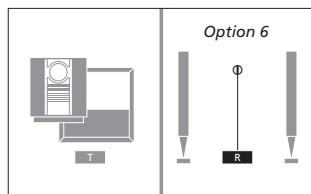
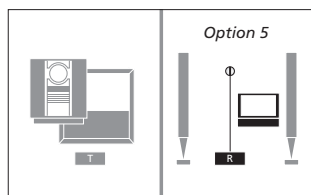
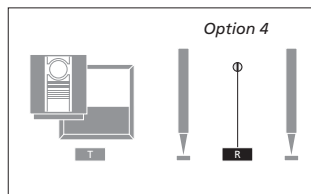
Power Linkセットアップでは、リンクルームのスピーカーを、次のいずれかのオプションに設定します：

Option 0: リンクルームでリモコン操作を無効にする場合に設定します。

Option 4: スピーカー類をメインシステムと同じ部屋で使用する場合に設定します(例えば、L字型の部屋で、2カ所をリスニングポジションとする場合)。

Option 5: Bang & Olufsen テレビをリンクルームに置く場合に設定します。

Option 6: 本書の説明に従って、メインシステムを置く部屋と、スピーカー類を使用する部屋を別にする場合に設定します(製品出荷時の初期設定)。



オプション設定には、Beo4リモコンを使います。すべてのシステムを、スタンバイ状態にしておいてください。

- > ・ボタンを押しながら、LISTを押します。
- > 両方のボタンを離します。
- > LISTを繰り返し押し、Beo4のディスプレイにOPTION?を表示させたあと、GOを押します。
- > LISTを繰り返し押し、Beo4のディスプレイにL.OPTを表示させたあと、適切な番号ボタンを押します(0, 4, 5, または6)。

ワイアレス通信への干渉

送信機から受信機に送られる信号は、電子レンジやパソコンのワイアレスシステム、あるいはアメリカ製コードレス電話機などから影響を受けます。もし干渉が発生したら、次の方法を試してみてください:

- 受信状態が改善される位置まで、受信ユニットを移動させる。
- 干渉している機器から、受信ユニットを遠ざける。
- Bang & Olufsen 販売店に相談する。



本製品は、EC 指令 1999/5/EC およ
び 2006/95/EC に規定されたすべ
ての条件を満たしています。

本製品は、EEU および EFTA 加盟国
で使用できます。

技術仕様、機能、使用方法は、事前
の予告なく変更する場合がございます
ので、あらかじめご了承ください

